



# 臨嶺会会報

第34号

2013年春発行

## 目次

### 特集

|                    |         |            |       |
|--------------------|---------|------------|-------|
| 「スローライフ」           | …… 2~3  | 新任教員紹介     | …… 20 |
| 臨嶺会会員の近況報告         | …… 4~16 | 最近の検査      |       |
| 信州大学大学院医学系研究科保健学専攻 |         | 「細菌の質量分析」  | …… 21 |
| 博士後期課程1期生修了        | …… 17   | 松本便り       | …… 22 |
| カミングホームデー          | ……18~19 | 卒業生の進路     | …… 23 |
| 卒後40年 衛検5回生        |         | 事務局からのおしらせ | …… 23 |
| 卒後20年 短大17回生       |         | 2012年のできごと | …… 24 |
| 卒後10年 短大27回生       |         | 編集後記       | …… 24 |
| こじ記                | …… 19   |            |       |

# 特集 「スローライフ（競争社会から共生社会へ） ～心の奥底に



震災後の年越しに私は家族三人で陸前高田にいました。仮設住宅の公民館で行う年越しイベントの手伝いで岩手まで行ったのです。その時に感じたことはそれまで培ってきた価値観を簡単に吹き飛ばすものでした。「命に終わりがある。私は今生きている」 ある日夫が図書館から借りてきた本がきっかけとなり、写真の非電化工房（栃木県那須市）に行きました。

## 「夫の退職」

非電化工房では自給力をつけるように様々な方法を提示されます。支出を減らして少ない収入でも幸せに暮らしていく。週休2日ではなく週休4～5日にして休みの日には自給力アップのために時間を使うこと。ものを作り出すことの喜び。仲間と共に歩む楽しさなどなど。夫は競争社会の真っ只中にいました。このまま会社においても幸せじゃないことは十分わかっていました。「もういいか」と二人で退職することを決めました。



自給のための畑

## 「畑を始める」

市民農園に加えて別の畑も借りることにしました。あくまでも自分たちが食べる分なので作りすぎず、種類を多くが理想です。

## ある幸せに正直に生きる〜)」



### 「考えてから買う」

何気なく買うペットボトル。日本中のいたるところに自動販売機がありますがこれは電気で動いています。原発反対を唱えるからにはできるだけ水筒を持ち歩くようにしています。買うときにその商品が作られた背景や販路を考えるように気をつけています。

### 「不便を楽しむ」

コーヒー豆を生豆で買っています。煎りたて、挽きたて、淹れたてのコーヒーを飲んでいます。コーヒーを煎るときの香りが部屋中にたどよい、何とも良い気持ちになります。便利を捨ててプロセスを楽しむっていいですよ。

### 「ゴミを減らす」

生ゴミを捨てなくなって2年ですが、ゴミの全体量が減りました。我が家は狭いながら庭があるので埋めて堆肥化しています。ゴミ処理場の煙突の煙を見て、松本市であと1万人生ゴミを捨てなかったら・・・などと想像しています。

### 「生計をたてる」

夫の退職により我が家には固定収入がなくなりました。小学生の子供もおおり、ある程度お金が必要です。ではどうやって作るか。大きなビジネスには競争が生まれるが誰も振り向かない小さなビジネスを複数こなして生計を立てるように工房で教わりました。H25年1月から小さく開業します。

### 「お金に頼らない生活を」

私のまわりにいる人たちは「それでやっていけるの？」と言います。今までと同じ価値観で生活をしていたら辛いかもしれません。ほんとうの幸せは何か真剣に考え、勇気を持って生活を変えることにしました。今年スタートです。

(短11 赤羽 昌子)



## 臨嶺会会員の近況報告

衛1 春日（上島）久美 さん

### 『3B体操と私』

ついに高齢者の仲間入りをして、検診結果にも不安が……。そんな検診対策として始めたのが3B体操です。3Bとはボール、ベル、ベルターの頭文字からきています。腹筋や柔軟体操はもちろん脳トレもして失敗には笑いが起き、なかなか楽しい時間を過ごします。またその後の気の合った仲間でのランチでは旅行や年金、料理の話が弾みます。社会との小さな繋がりですが、身体を動かしたり、会話を楽しむ中で私の生きるヒントや生活の知恵、心の癒しを得ていると思っています。

お次は、岩原（大山）亮子 さん（編集委員会推薦）

衛2 武井 正子 さん

### 『まあまあかな。』

私の癒しは、土から物を作り出す事。そう、中高年に人気の陶芸です。十数年やっていますが、未だにガラクタばかりです。でも気が置けない仲間と、茶菓子を楽しみながら、時々、作陶にも熱中できる一時です。

お次は、中谷（松田）洋子 さん  
（編集委員会推薦）



衛3 興 政子 さん（農業）

### 『野菜作り』

卒業から早や43年。私の癒しは野菜作りです。一粒の種の成長を見るのも、食するのも楽しみです。43種類すべて無農薬栽培。人にあげて喜ばれ、頂いて人間関係も円滑です。無心になれるのもいいです。（写真：オクラの花）

お次は、樋口（小谷）康子 さん



衛4 飯島（南沢）かず江 さん

### 『農と絵本と「9条の会」』

進まぬ復興と原発再開に心が痛みます。我家には田と梅畑と野菜畑がありますが、退職して3年ようやく主要野菜が賄えるようになりました。千曲川河川敷で長芋も試みたところ結構なものことができました。子供たちや親戚知人に送りご近所にお裾分けして、後はせっせと料理。梅は梅干し・砂糖漬け・梅ジャムを作ってプレゼントにもして好評です（以前は自然落果していた。勿体なかったなあ）。また、保健センターと小学校で絵本の読み聞かせをしています。市の図書館まつりでは「おはなしのへや」を担当して絵本や手遊び、ちょっとした劇もやります。この秋、「中検実習」でお世話になった酒井倫子さんが館長の絵本美術館「森のおうち」に行き大歓迎していただきました。絵本も実に奥が深いものです。農作業と料理と絵本は癒やしですね。子どもたちの未来のためにも、地域の憲法「9条の会」で月々のニュースを書いてもいます。

お次は、平林 久枝 さん

## 臨嶺会会員の近況報告

衛5 松下（江塚）郁子 さん

『癒されるのは古里の風景』

医療に携わっている方々には一段と興味深いiPS細胞で、先頃ノーベル賞を受賞された山中教授の人となりには感銘を受けました。検査の仕事を手を離れて30年余り。この地に定住して十数年が経ちました。当初は景色と空気の悪さを嘆くばかり。時代の流れで、黒煙を出す工場は段々と住宅地に変わりました。年を重ねると、平で便利な一宮の生活もいかなと思えるようになりました。でも癒されるのは、やはり古里の風景です。信州の山々は、季節・時間・光の違いで様々な顔を見せてくれます。その点で、数年見上げ続けた富士山にも引けを取りません。家族はじめ多くの友人知人から聞く海外旅行。私も一度は…（息子が赴任している間に）。

お次は、垣内（加藤）桂子 さん

衛6 赤羽（堤）志津子 さん（農業）

『我輩は若僧のママである』

農業も25年になりました。自由に出来る反面、生き物相手なので忙しく毎日が過ぎます。そんな中、心を癒してくれるのは4匹の猫達です。採花や選花の場所に現れ、何となくそこに居ます。何気ない仕草に心安まります。

お次は、浅沼しず子 さん



臨1 田中（小澤）恵子 さん

『おいしい野菜いかがですか』

3年程前、主人と共に早期退職。新たな目標に向かって退職した主人に比べ、いろいろな思いが交錯して決断した私。その中には人員削減の一助になればとの思いもあったのに、「一緒にやめるなんて無謀だよ。考えなおした方が良く。ご主人うつ病だと思っから病院に連れといで。」と逆に心配してくれたやさしい院長。今でも感謝しています。『健康な野菜を手から手へ』と30軒程のお宅に野菜を宅配。また町内の小中学校、病院などに地物野菜を提供する為、自分の作物のみならず仲間と施設間の調整を一手に引き受け早朝より飛び回っている主人。その手伝いをほんの少ししている現状です。「労働イコール金稼ぎの現代は不幸の時代、労働そのものに価値があるはずだ。」と言う主人の元、お金の工面は大変です。職場に働く皆さん、職場を大切に労働を楽しんでください。

お次は、丸山（中平）敦子 さん

臨2 渡辺（湯沢）松子 さん（信州大学 機器分析）

『病理で25年』

子供達の手が離れ再就職した職場は、学生時代薄切用のメス砥ぎをした記憶しかなかった病理学教室でした。それでも、自分の性に合っていたのか、あっという間に過ぎた25年でした。その間、若い後輩からは、刺激とエネルギーをもらい、現在は頼りになる後輩達に支えられて、見えにくくなった目と固くなった頭に手こずりながらの毎日です。家では、私の母親と孫との時間に癒されながら、時間を作ってパッチワークを楽しみ、布の感触に癒されています。「めざせ元氣な老後！」です。

お次は、武舎（保科）千春 さん（編集委員会推薦）

## 臨嶺会会員の近況報告

---

### 短1 青木（二木） 政子 さん （松本市医師会医療センター） 『もうひとつの道』

信大医短を卒業して以来、ずっと松本市医師会医療センターに勤務しています。娘二人を出産した時の産休以外（そのころは育休はありませんでした）病気もせず35年も働き続けられたのも、職場の上司の理解と今は亡き夫をはじめ家族の協力があってこそと感謝しております。振り返れば、当時、国会の法案審議が遅れ、医短の入試日程が4月を過ぎても決まらないため、松本市役所でアルバイトをしていた私は公務員試験も受け合格。その時市役所職員の道を選んでいたら、今とは大きく違う人生を歩んでいたかなと思いつつ、この道を選択してよかったと思える自分が誇らしいです。そろそろ、知力・気力・体力ともに無理がきかない年齢になりましたので、これからの人生、自分自身でいたわりながら、仕事に趣味にもうひと頑張りしたいと思います。

お次は、高嶋 直子 さん

---

### 短2 荒牧（片桐） 千恵子 さん 『山歩き』

「夫婦共通の趣味を見つけた。山歩きを一緒にしよう。」突然の主人の気まぐれから、私も山歩きを始めることになりました。登山靴、リュック、ストックと装備は万全。見た目は一応、“山ガール”。でも歩く姿は杖つくおばさん。それでも主人と二人、遠足気分で森林浴を楽しんでいます。そして何より、自然の中で食べる“コンビニのおにぎり”の美味しさは格別です。主人のメタボ解消、そして、私のたるみ体型改善のためにも、無理をせず、楽しく続けていけたらと思っています。今のところ、週末の日帰りハイキングの域を出ませんが、いつか故郷信州の山を、夫婦揃って登れたらと夢見ています。

お次は、奥村（上條） 久恵 さん（編集委員会推薦）

---

### 短3 宇留賀（赤羽） 和代 さん （大津市民病院） 『娘と旅行』

ご無沙汰しております。今の職場は12年になります。50歳にして認定超音波検査士の資格を取得し、今年5年目の更新をします。人間ドックを中心に生理検査に携わっております。私の癒しは娘との旅行です。今年の夏は常念岳へ登ってきました。雨と暴風の中なんとか登頂を果たすことができました。

お次は、浅田（百瀬） 礼子 さん



## 臨嶺会会員の近況報告

---

### 短4 佐倉（青木）京子 さん （株式会社イナリサーチ） 『畑の改造計画』

義母が生前野菜や花々を育てていた畑が雑草の無法地帯と化し、緑の絨毯→土色の絨毯の繰り返しを毎年見るにつけ、何とかしなくては…と、閃いたのがイングリッシュガーデン。雑草を退治し、レンガでアプローチを作り、アーチを2基設置し、主人に日曜大工でパーゴラを作ってもらい、ご近所さんに宿根草の苗やバラの枝を分けて頂き手作りのガーデンを始めて今年で3年目。今年は仕事の都合でなかなか手を賭けてあげることができませんでしたが、四季折々に可憐に力強く咲く花達に癒されると共にその生命力に元気づけられています。まだまだ構想は広がりますが、少しずつ改造計画進行中の今日この頃です。短4回生の皆様次回の同級会は静岡です。

お次は、植村（上田）いずみ さん

---

### 短5 綾田（長田）ゆかり さん 『私の癒やし』

4年間の勤務後26年間専業主婦でした。一昨年、ひよんな事から白衣を着る機会に恵まれました。検診のお手伝いですが「阪急電車で片道15分程」揺られ延べ20日間程お勤めしました。楽しかったです。…癒されました…

昨年はお仕事もないので娘と春にベネルクス三国へ、夏はフランスへ、秋は東京の息子も加わり3人で中欧ヨーロッパへ行ってきました。「老いては子に従え」を実感しました。主人は留守番です。楽しかったです。

…とても癒されました…

お次は、木元（花井）てるみ さん

---

### 短6 岩瀬 由美 さん （株式会社 エスアールエル） 『ワンピースにはまっています』

最初に就職した病院が閉院となり現在はエスアールエルに勤務しています。勤務地は静岡がんセンターの細菌検査室で病院職員の方と一緒に検査をしています。プライベートでは、結婚出産が遅かったため我が家の一粒種がまだ小学四年生で、子育て楽しんでいます。現在この息子とはまっているのがワンピースです。友達や仲間その名誉のためにボロボロになって戦える主人公達の姿に目頭を熱くして読んでいます。我が家ではワンピースの麻雀風カードゲームも人気で82歳の母の頭のリハビリも兼ねて夜な夜な皆で楽しんでいます。目下私たちの最大の関心事は渋谷にできた公式ショップ「麦わらストア」に行くことです。

お次は、垣内 秀夫 さん

---

### 短7 今村（飯野）縁 さん （富山市医師会健康管理センター） 『突然の移動』

早いもので卒業してから30年余り経ちました。おかげ様で今も正職員として、富山市医師会の共同利用施設である健康管理センターに勤務しています。長い間、細菌検査や血液検査など担当していましたが、2年前突然、業務部に異動となり、検体を回収してくる集配員の管理、医院からの電話対応、各種健診に関して役所と打ち合わせをしたりと、検査とは少し異なる仕事をしています。しかし今までの検査技師としての知識は無駄になっていません。上司には現場へ戻してほしいと常に訴えていますが、叶いそうにありません。勉強会など積極的に参加して日々進歩する検査に遅れないようにしたいと思っはいるのですが、やはり年です…頭と体力が伴いません。

お次は、三浦（倉光）みどり さん

---

## 臨嶺会会員の近況報告

---

短8 池田（高橋）寿江 さん

『しみじみと…』

仕事を終え家に帰ると、玄関の戸には白い影が見えている。毎日出迎えてくれる我が家の猫達。おかえりの挨拶もそこそこに食事スペースにスタンバイしている。君達の目的はそれですか!?と突っ込みたくなる。そんな猫達でも日中帰った時、寝惚け眼で出迎えてくれる姿に思わず顔をほころばせてしまう。娘達が進学で家を離れた今、本当にかけがえのない家族です。

ー昨年の震災の影響で野生化した家畜やペットの報道を目にして、胸が痛み、自分達の幸せをしみじみと噛み締めている今日この頃です。

お次は、高島（神谷）恵子 さん

---

短9 原（大島）節子 さん  
（一般財団法人 総合保健センター）  
『現役の山女…山ガール』

学生の時に北アルプスに登ってから山は癒しの場所。景色はもちろん、下からわき上がるガス、体を感じる風など辛い登りを忘れさせてくれます。ちょうど今は登山ブーム、山ガールを楽しんでいます。

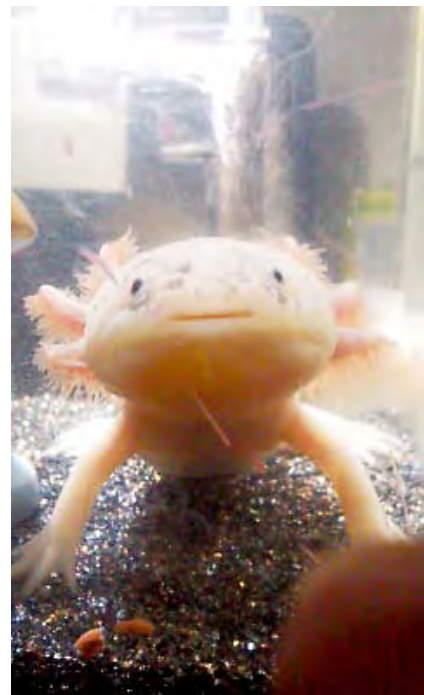
お次は、榎本 昭子 さん



短10 高野（清水）範子 さん  
（北里環境科学センター）  
『私の癒し』

「みるる」です。こどもの日にケース込みで、980円で我が家にやって来たウーパールーパー（多分メス）です。成長と共に増えてきたシミと緩慢な動きに自分の姿を重ねつつ、結局私がせっせと餌をあげています。

お次は、木村（鈴木）美智子 さん





## 臨嶺会会員の近況報告

---

短11 中村（西沢） 恵華 さん  
（茨城県総合健診協会）  
『猫 (= ‘x ‘=) のゆず』

昨年の夏主人と子供達の希望により我が家の一員になった”ゆず”。犬派の私は、最初はビクビクしていましたが、今ではすっかりなついて孫のようだとされます。ゆずに話しかける時はまさしく猫なで声です。

お次は、大黒 明美 さん



---

短12 服部（稲垣） 繁香 さん

『空を眺めよう』

“私の癒やしとは？”と聞かれてすぐに“これをやっています”といえるものがないように思えます。日常生活の中で、くたびれたな、思うようにはかどらないな、そしてため息が出てきたら少し手を休めてぼーっと空を見ていることがあります。時間を忘れ何も考えずにちょっとひとやすみ（結構時間が経っていたりする）。遠くの空をただひたすらに眺めることによって、また元気が出てくる気がします。

お次は、丸山（宇留賀） 美奈子 さん（編集委員会推薦）

---

短13 阿部 悟 さん（一般財団法人日本健康増進財団 健診事業部 検診事業課）  
『検診をコーディネート』

平成元年に、医短を卒業し24年が過ぎようとしています。松本で生まれ育ち、東京に憧れて今の会社に就職しました。（田舎者！）私の会社は、巡回検診を主だった業務としています。北海道から沖縄まで全国津々浦々、仲間たちと、仕事より安価で美味しい肴とお酒を味わうことを楽しみに出張してきました。一昨年からは、検診業務を離れ営業担当として検診をコーディネートしています。臨床検査技師として、検査から離れることに抵抗はありましたが、現在では今まで培った僅かな知識をもとに、お客様に検診の必要性をお話しています。ただ、お酒はやめられず・…仙台で、同期の湯田さんと飲む事を楽しみに仕事しています。

お次は、湯田 浩司 さん（編集委員会推薦）

## 臨嶺会会員の近況報告

短14 櫻井（天野）由佳利 さん （市立島田市民病院）  
『家族とリフレッシュ』

ご無沙汰しております。卒後、地元公立病院に勤め〇〇年。何度もくじけながらも家族でお出かけするのを励みに頑張っています。毎年、信州にはスキーに出掛けます。（松本の手前で折り返してしまうのですが。）2012年は橈骨骨折という最悪のスタートでした。その後インフルエンザと尿路結石。夏には手背を火傷。丈夫なだけが取り柄だったのに……。痛い痛い上半期でした。アラフォーの体を舐めてはいけません。皆さんも気をつけてくださいね。それでも、懲りずに冬には信州に行くつもりでいます。生意気な中2の息子と小3の娘。そして、骨折している間、家事を頑張った主人を運転手にして。家族と一緒にリフレッシュ。そして、また職場でも頑張れるように。今度は怪我しないように気をつけます。

お次は、加藤 美由紀 さん

短15 菊池（大崎）美佐子 さん  
『バタバタから…』

卒業後、15年間勤めた病院を、長男（6年生）の入学を機に退職しました。今は長女（年少）の送り迎えをする毎日です。ママチャリで頑張っております。いつまで続くか…働いていた頃は、長男を朝早くから夕方まで保育園に預け、家では食事、お風呂、寝るだけ…毎日がバタバタと過ぎていきました。もっと一緒にいてあげてたら…とやや後悔です。でも今では、子供達の何気ない行動や成長をじっくりと見守ることができ、また心にゆとりを持てたことを嬉しく思っています。先日、近所で東日本大震災の復興支援として、大船渡さんま祭りが催され、美味しいさんまをいただきました。今後も微力ですが、自分に出来る支援を長く続けたいと思います。

お次は、宮原（奥野）ゆきえ さん（編集委員会推薦）

短16 百瀬（竹村）佳代 さん  
（信州大学医学部附属病院輸血部）  
『パワーストーン』

約10年のブランクを経て仕事に復帰。他施設にて3年間勤務し、今の職場に就かせて頂く事になり（出戻り？笑）、現在に至ります。さて！皆さんもご存知のパワーストーン。仕事に復帰した私にとって欠かせない物になっています。と言うのも、ブランク期間に数年間、パワーストーンに関わる仕事をしていたのですが、どうも私は他人のマイナスパワー（具合の悪いような…）を吸い取ってしまうらしいのです。自覚がある時も……。今の職場は宿直もあるので、普段は身につけていますが、工作中は検査着のポケットにプレスレットが忍んでいるのです。あっ！ピアスも自身で作ります。作っている時間はまさに「癒しの時間」ですね♪

お次は、石田（東）亜弥 さん  
（編集委員会推薦）



## 臨嶺会会員の近況報告

---

短17 齋藤（佐藤） 留美子 さん

『心地よい運動』

卒業以来暮らしていた茨城を離れ、結婚を期に兵庫県は加古川市で暮らし始めて3年と少々が過ぎました。加古川では年一回、ツーデーマーチなるウォーキング大会があります。これに参加して運動不足を思い知らされて以来、体力作りを目的に始めたウォーキングにハマっています。車がビュンビュン走る通りから一步外れて、のどかな田舎街を歩くと心が癒されます。加古川は中心部こそなかなかの都会ですが、車で少し走ったり電車で少し移動すれば閑な街が多く、快適に歩けます。また折角関西に住んでいるのですから時には奈良や京都の街歩きも楽しんでいます。これが今の私の癒しです。

お次は、橋本（市川） 裕美 さん

---

短18 常田（傅田） こずえ さん （長野赤十字病院）

『やっとこ』

皆様より、だいぶ遅れましたが、2012年春やっとこ結婚しました。仕事では胎児超音波検査を担当しています。毎日、何人もの妊婦さんと接していますが、最近は私と同じく高齢出産の方もたくさんみえるので、私も勇気をもらって、お腹の中の赤ちゃんと共に頑張っています。この会報が発行される頃には、新しい家族と共に今までとはまた違った充実した日々を送っていると思います。

お次は、藤本（本田） 千恵子 さん

---

短19 家田 誠 さん

『長野が癒やし』

私は今、システム管理の仕事をしています。私の癒やしは10年以上趣味として続けているスノーボードで、冬は毎週のように木曽へ向かいます。（もう少しで松本？）山々を背に滑走するとストレス発散になります。

お次は、土井（森） 敦子 さん  
（編集委員会推薦）



短20 岡本（田中） 順子 さん （厚生連篠ノ井総合病院）

『検査技師の仕事が続けて来て』

皆様、お元気でしょうか？ 卒業してから現在まで厚生連篠ノ井総合病院に勤務して早17年目となりました。生理検査の仕事に就いてからも15年という年数が経ち、日々忙しい毎日を送っております。先日東京で開かれた心エコーの講習会に参加してきました。まだまだ知らない事や新しい事があり日々のルーチンで役立つような知識習得の機会はこれからも必要だと改めて実感しました。趣味であったテニスからもしばらく離れていたんですが、この間久しぶりにする機会があり体力の低下を感じつつ良いストレス発散になりました。これからも趣味を持ちながら仕事を続けていけたらと思っています。

お次は、大月（高山） 利香 さん

---

## 臨嶺会会員の近況報告

---

### 短21 西澤（金井）純子 さん 『山ファミリー』

長野県は山ばかり。4年前から家族で登山を始めました。一番のお気に入りの山は小諸市の黒斑山。大きな浅間山が正面に見え、心身共に癒される景色です。数年後の富士山を目指し、近隣の山を楽しんでいます。

お次は、長井 円 さん



---

### 短22 大澤 佳代 さん（神戸大学大学院保健学研究科） 『神戸より』

医短を卒業してから、10年以上経ちます。入学した当初は、社会人学生としてなかなか恥ずかしいものでしたが、皆にすんなり受け入れてもらったので、非常に楽しかった記憶しかありません。既婚者だったので、友達の恋愛相談にのっていたりしましたね。私は卒業と同時に松本を離れて、旦那の後を追って、現在は神戸にて臨床検査技師を育てる側になりました。神戸は海と山とがありますが、私の勤務する場所は山の中で、明石海峡大橋がきれいに見える場所です。そんなわけで、卒業してからも、たまに母校の先生方にお会いする機会があります。つい先日、戸塚先生にお会いした際、私のことを覚えていて下さったことに感激しました。遠く離れていても、先生方が気にかけてくださっているかと思うと、私も卒業生に対してそうありがたいものだとつくづく思います。同級生の皆さん、長いことお会いしていませんが、また、機会がありましたらお会いしたいですね！

お次は、中澤（峰村）由貴 さん（編集委員会推薦）

---

### 短23 丸山 聡 さん（長野市民病院臨床検査科） 『発症を経験して』

東京の大学へ編入後、現在の施設に入職してからもう10年以上が経過した。ある時、著しい全身倦怠感と下肢の浮腫が続いたため内科を受診した。甲状腺機能亢進症だった。当時歌手の絢香さんがこの病気のため活動休止を発表していた。女性に多い疾患であり、家族歴もなかったので驚いたが、思えば小学生の頃にかかりつけ医に手掌の発汗と震えを指摘されたことがあった。現在は寛解中であるが、数年前から地域の糖尿病関連の仕事に携わるなかで、自分の発症を通じて病気の人たちの気持ちを以前より理解できるようになった気がする。家庭では3人の幼い子供に振り回される毎日だが、家族との対話も大切にしながら健康に過ごしたいと願う今日この頃である。

お次は、野口（中西）仁美 さん（編集委員会推薦）

## 臨嶺会会員の近況報告

---

短24 山田（照井）裕美 さん  
（医療法人 ハートクリニックさわだ）  
『私の家族』

私の癒しといえば、2歳になる長男です。写真は長男の2歳の誕生日の家族写真です。我が子というものは本当に愛おしく、一眼レフで写真を撮る趣味も増えました。2歳になると色々な事を覚え、会話が成立するようになりました。現在は仕事と育児の両立で、楽しい毎日を送っています。ママにべったりで、おままごとが大好きな男の子です。赤ちゃんの頃を思えば、新米ママには育児が大変だともありました。しかし、子供の寝顔はとても可愛いものです。現在、第2子（女の子）を妊娠中！来年には家族が増え、お兄ちゃんになります。家族仲良く楽しい毎日を過ごしたいと思います。家族が増えるって、待ち遠しいものです。

お次は、長谷川 登志美 さん  
（編集委員会推薦）



短25 木下 順子 さん  
『私の癒し』

卒業して愛知に戻り10数年経ちました。結婚後、総合病院を退職し、現在は巡回健診クリニックで働いています。写真はチワワのクー太郎です。チワワにしてはすご〜く大きめですがいつも癒されています(^-^)

お次は、安江 香里 さん



短26 山下（水口）由美子 さん （阿南共栄病院）  
『息抜きしながら…』

卒業してから、職場は何回か変わりましたが、ずっと臨床検査技師の仕事は続けています。手さぐり状態で細胞診の勉強を始めて、どうにか細胞検査士の認定を取得することができました。現在の職場では、病理検査を担当しながら、血液検査・一般検査や生理検査にも携わっています。また、救急対応の病院であるため、日当直の緊急検査にもあたっています。今は仕事と子育てで、あっという間に一日が過ぎていく毎日です。ある看護師さんに言われた言葉ですが、「家庭は仕事の息抜き。仕事は家庭の息抜き。」なかなか両立というのは難しいですが、息抜きしながら、仕事を続けていけたらなと思っています。

お次は、藤森（河井）玲子 さん

## 臨嶺会会員の近況報告

### 短27 根岸（植木）明子 さん 『お母さんありがとう』

この文書を考えるに当たって思い返すと医短を卒業してから10年以上も経つんだと時の流れの速さにおもわず驚いてしまいました。現在の私は生まれ育った長野を離れ、昨年2月に結婚し10月に女の子を出産して慣れない育児に悪戦苦闘する毎日です。卒業した時にはまさか自分がお母さんになるなんて考えもしなかったですが、実際自分が母親になり小さな命を育て上げていくことは、ホントに大変なことだと日々感じるとともに、私がここまで成長できたのも偉大な母親がいたおかげだと改めておおい感謝したいと思いました。お母さん 本当にありがとう。私もそんな母親になれるように育てていきたいと思います。

お次は、中村（三浦）由美子 さん



### 短28 伊藤（西沢）博美 さん（長野県上伊那広域水道用水企業団） 『水質の検査してます』

学校を卒業し社会人として働き始め9年も経っている事に驚いています。私は職場を転々とし、現在は臨床から離れ水道水やダムの水質の検査をしています。現在の職場は全社員13名、平均年齢47才。三十路手前の私が一番若手であり、三十代が1人もいないという少し年齢に偏りのある職場です。人数が少ないためかまとまりがあり、月に一度のボーリング大会やゴルフコンペとイベントも多いです。が、たまには若い人とのふれあいもほしいと思う毎日です。

お次は、岩佐（赤羽）優夏 さん

### 短29 渡邊 小百合 さん （社団医療法人 養生会 かしま病院） 『私の職場』

私は現在、福島県いわき市にあるかしま病院の臨床検査科に所属し、午前中は生理検査室、午後は病理検査室で働いています。入職してから5年目になり、生理検査室では心電図、ABI、肺機能検査、眼底検査、眼圧検査、聴力検査、鼻腔通気度などを行い、病理検査室では手術材料の写真撮影から保存、切り出しの補助、薄切、染色などの標本作成はもちろんのこと、昨年細胞検査士の資格を取得した為、細胞診のスクリーニングにも取り組んでいます。これからも今より一層知識を深め、仕事に取り組んでいきたいと思っています。

お次は、小林 麻衣子 さん



## 臨嶺会会員の近況報告

### 保1 阿部 優太郎 さん (医療機器営業) 『フランス出張にて、エッフェル塔』

医療機器の営業として多忙な日々を過ごしています。写真は5月下旬の欧州透析学会参加のためフランスへ出張した時のものです。天候にも恵まれて充実した出張(観光?)となりました。

お次は、古家 充賀 さん  
(編集委員会推薦)



### 保2 平 千明 さん (信州大学医学部附属病院臨床検査部) 『眠らない検査室』

遺伝子・染色体検査室メンバーです。当検査室は早朝から深夜まで、休日含め毎日誰かいます。電気代のムダ…なんて言われないように(;-;)、誕生日をお祝いしつつ、ルーチン検査に研究に励んでいます。

お次は、安孫子 ユミ さん



### 保3 稲見 恵里 さん 『新病院の準備』

大学を卒業して、早くも4年経とうとしています。社会人になったら、日が過ぎるのが早いと聞いてはいましたが、本当にめっちゃくちゃ早いですね。あっという間の4年間でした。そんな日々の生活での私の癒し。。。それは。。。遊んで!食べて!笑う!癒しというより、ストレス発散方法みたいなものですが。私の周りにはいる家族・友達は、癒しを与えてくれます☆私も、家族や友達にも癒しを与えてあげたらなーと思います。

2013年10月。私の働いている市民病院は、隣の市の市民病院と統合します。現在ルーチン業務のかたわら、新病院の準備を進めています。設計図の段階からの検査室の立ち上げに参加できるというのは、すごく大変ですが、すごくいい経験をさせていただいていると思います。検査に関して、病院の組織に関して、いろいろ経験させていただいて成長していきたいと思っています。

P.S そしてそしてクラスのみんない!!  
2014年3月えりんご結婚予定!!笑

お次は、後藤 孝文 さん



## 臨嶺会会員の近況報告

---

保4 林 奈津実 さん (福井赤十字病院)  
『楽しみな友人との旅行』

お久しぶりです。卒業して早くも3年が経ちました。私は今、細菌検査を担当しています。今年は全国学会での演題発表、資格取得と実り多き年になりました。地方で毎日頑張っています。そんな私の癒しは学生時代の友人との旅行です。苦楽を共に過ごした友人は、いつまでも学生時代と変わらぬテンションで楽しく過ごすことができ、日々の仕事の疲れを癒してくれます。なかなか予定を合わせることは難しいですが、心知れる友人との旅行を糧にこれからも頑張っていきたいと思います。

お次は、山口 古都 さん

---

保5 稲葉 千紘 さん  
(浜松医科大学医学部附属病院検査部)  
『BBQ ☆ in 弁天島』

就職して2年目になりました。今私は脳波検査を担当しており、小さい子の相手がんばっています。知り合いもない浜松に来ましたが、先輩方も優しく、楽しく過ごしています。夏にはみんなでBBQ (バーベキュー) に行ってきました。

お次は、持田 智之 さん



保6 荻野 千尋 さん  
『待ってろ、雪山!』

写真は松本ほんぼんの写真ですが、寒くなってきたこの頃は仕事なんてそっちのけでボードをもって雪山に行きたいです。グレンデに住もうかという勢いです。なんて事は言いません。言えません。でもたまには息抜きも大切です。新しい板、ウェアも一式揃えたので待ち遠しいです。毎週いく予定です。待ってろ、雪山!

お次は、芦田 静香 さん





信州大学大学院医学系研究科保健学専攻  
博士後期課程 1期生  
祝 修了

信州大学大学院医学系研究科では、平成20年度から保健学専攻博士後期課程がスタートしました。1期生9名のうち3名が医療生命科学領域に入学し、そろって23年度に修了を迎えることができました。

以下3名の一言・・・

赤羽 貴行 さん

本学の前身である医療短大を卒業後、社会人として他の大学と大学院（修士課程）を卒業していましたが、縁あって博士後期課程を本学で修了できたことはとても感慨深いことでもありました。今まで社会人大学生として経験した修士課程とは大きく違った博士後期課程の学生生活でしたが、本学の素晴らしい指導教員の方々のおかげで無事1期生になることが出来、今まで学んだことを今後の仕事に生かすとともに臨床検査技師の後輩の育成にも生かしていきたいと思います。



春日 恵理子 さん

現在の職場に勤務したばかりの頃、自分の10年後の姿は全く想像出来ず…この様に整った環境で社会人大学院生として学生生活を送れるとは思っておりませんでした。1期生というだけでも非常に感慨深いものがありますが、個人的にも思い出に残る出来事が多い学生生活でした。指導教授である川上先生をはじめ、指導教員の皆様のおかげで無事に博士課程を修了出来ましたことを本当に嬉しく思っております。濃密な3年間を糧に、後輩達の将来に役に立てるような技師になれたら…と思っております。

久保田 聖子 さん

1期生がどんな研究をするかで大学の博士課程のレベルが決まると聞いて随分敷居の高いところに身を置いてしまったなぁと感じましたが、各々で納得のいく研究が仕上げられたと思っています。まとめるにあたり何度となく壁にぶつかりましたが、太田先生、山内先生をはじめとする指導教員のご指導により何とか論文にできました。少しずつ自分で考えまとめられるような力をつけ、このような経験を活かしていけるといいなと思っています。



## カミングホーム 衛検5回生

昭和47年（1972年）卒業の衛生検査技師学校5回生は女性ばかり20人の学年です。卒業40年のカミングホームデーという企画が、ほとんどの人が還暦を迎えた平成24年3月10日～11日にかけて行われました。県内から8名、県外から3名（兵庫、岐阜、山梨）計11名の仲間が集まりました。場所は松本浅間温泉「尾上の湯旅館」。古いけれど味わいある旅館でした。春の大雪も屋前に止み、電組、車組がそれぞれに無事に宿に到着。全員揃ったところでまずは記念撮影。会った瞬間、気持ちは一足飛びに40年前に戻ったようで、夕飯の時、温泉に入っている時、二次会と会話ははずみ、日付が変わるまで、時の経つのも忘れて楽しい時間を過ごしました。アルコールも進み、おばさんパワー全開！といった感じです。翌日はみんなそろって、松本城や開智学校を散策。天気も良く雪を頂いた遠くの山々もくっきり見ることができました。昼食は“しづか”の前にある“吉邦”というお店でもりそばを食べました。



そのあと県の森まで出てく歩いて移動。喫茶店に入り、さらに話は続きます。名残を惜しみながら15時頃解散という2日間でした。卒業以来16回目の同級会。

今回初めて泊りで行いましたが、ゆっくり語らうことができ、なかなか好評でした。また泊りでやろうという声も多くありました。青春の一時期を共にした友はいいもんだね・・・それぞれに良い年を重ねて味わいが増してきたよね・・・と仲間の声。この大事な仲間との交流をこれからももっともっと深めていきたいと思いました。（滝澤 洋子）



## カミングホーム 短大27回生

それは1通のメールから始まりました。

「今年から、卒業10年目で同級会を開くと補助金がでます。」

・・・なんとありがたいお言葉！メールの主は、わがクラスの副担任にて臨床化学の准教授、寺澤先生からでした。

貰えるものは貰っておけという精神のもと、早々に同級会の計画をたてることに。しかし、そこは卒業10年目。世間的には一番の結婚・出産年齢で、はたして人が集まるのかどうか・・・出欠席の返事をもらう度、一喜一憂の毎日でストレスから体重が5kg減りました（うそ）。

そして当日7月15日。卒業10年目だけに

10名（偶然）の同級生がここ、信州松本の地に足を運んでくれることに。そして担任の病理学教授太田先生と寺澤先生をお迎えしての計12名で、無事開催されることとなりました。

結婚して育児にいそしんでいる人、キャリアを積み重ねている人、それぞれの生き方を垣間見ることのできる貴重な時間でした。そして皆さま方、大人っぽく美人さんになっており、同級生といえども5歳年上の私にはまぶしく、うらやましく。。

太田先生、寺澤先生も卒業当時とお変わりなく、まるであの頃に戻ったかのように、楽しくて笑いの絶えないひとときを過ごせたかな、と。

次回、卒業20年。20名くらい集まることを希望しつつ・・・またお会いできるのを楽しみにしています。（山崎 麻美）



## カミングホーム 短大17回生

平成5年に医療短大を卒業して20年。カミングホームデーという企画を利用して同級会を開きました。長野県内から3名、県外から9名が出席し、保健学科亀子先生と福岡県から担任の加藤先生にもご出席いただき、楽しいひとときとなりました。

それぞれの卒業後から現在までの話をききましたが、卒業してからずっと同じ職場で働いてる人、職場を変えた人、一度家庭に専念し仕事復帰した人、また家庭を大事にしている人、これから仕事復帰しようとしている人、みんなそれぞれに置かれている立場で頑張っているのだなと感じました。

また、臨床検査技師の資格を手にした頃の気持ちを、思い出させて貰いました。加藤先生は、2011年3月に香川県立保健医療大学を退職され、現在は名誉教授になられ、さらに同年4月より福岡県の純真学園大学保健医療学部長を務められているそうです。昔と変わらず、エネルギッシュな先生です。加藤先生には、「10年後もまた同級会を頼むよ」と言われ別れましたが、10年なんて、またあっという間に過ぎるでしょうね。

(赤羽 由紀)



## こじ記

～松本の魅力を求めて三千歩～

『こじ記』も5回目を迎え、最近では、「今年はどこの取材なの?」「できれば飲食店を散策して欲しいな。」などというお声掛けをいただけるようになってまいりました。楽しみにしていただける方がいらっしゃると思うと、さらなる松本の魅力をお伝えできるよう探索しつづけたと思います。

さて、今回は浅間温泉にある『PUB RESTURANT 赤いピアノ』に行きまして。



赤いピアノというお店の名前、皆さんも一度は耳にしたことがあり、忘れることのできない店名の一つではないでしょうか。赤いピアノはお食事にお酒とくつろぎのひと時を提供するパブレストランとして、1976年に浅間温泉に開店しました。浅間温泉を散策中にちょっと小道に入ると見えてくる目印の看板。お店に入れば誰の目にもすぐに飛び込んでくる赤いピアノ。そして、ご主人とおかみさんの素敵な笑顔。開店当初から何一つ変わることなく、37年目に突入したそうですよ。

もう一つのキーワードといえば、やはり豆腐ですよ。ピンときた方や初めて耳にした方もいらっしゃることでしょ。赤いピアノには、地元豆腐店「まるみ」の豆腐を使った様々なメニューがあります。中でも人気なのが『豆腐ピザ』です。一見、なんの変哲もないピザのようですが、チーズの下にはなんと豆腐が一面に広がっており、とてもさっぱりとしているのですがボリューム満点なピザです。それと、『びあの風ハンバーグ』もオススメですよ。どこか懐かしさを感じる味は、お腹だけでなく心も満たしてくれる最高のお店です。



皆さん、浅間温泉にお立ち寄りの際は、ぜひ赤いピアノを訪ねてみてはいかがでしょうか。きっと皆さんの心に素晴らしい音色が鳴り響く、そんな素敵なお店ですよ♪♪

## 新任教員紹介



### 血液検査学 石田文宏先生

平成24年10月より病因・病態検査学講座に赴任しました石田です。おもに血液検査学を担当しております。不慣れなため、専攻主任の奥村先生をはじめ諸先生方に種々教えていただきながら日々を過ごしております。

**安曇野**に生まれ、信州大学周辺での生活が人生の大半を占めるようになり、ここしばらくは内科で血液内科を担当していました。血液内科の現場では血液検査と標本の観察は不可欠ですが、近年は治療の複雑化、造血幹細胞移植の普及により、もっぱら力は治療面にそそがれるようになったため、検査面は検査技師の方々の判断が主になってきていました。一方、長らく形態診断が大きなウエイトを占めていた血液腫瘍診断の分野も、分子標的薬の導入や背景となる遺伝子異常が最近の次世代シーケンシングとよばれる手法により次々と明らかになってきたことから、今後はパラダイムシフトも予感されます。しかしながら、自動化の波の中、鏡検観察の基本検査としての重要性が減じているところは全くありません。進歩も踏まえつつ、基本をおさえた技師を一人でも多く育成できるよう、教育にあたっていきたいと考えておりますので、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

**来年**には北校舎から耐震改修が始まる予定と伺いました。数年前に私の所属教室も経験し苦労もありましたが、改修後はほぼ新品同様になり快適でありました。本学校舎の新生、心機一転を期待しております。

# 最近の検査

## 細菌の質量分析

～ 迅速微生物同定システムMALDI Biotyperの紹介～

この度、信州大学医学部附属病院の細菌検査室に最新鋭の検査装置が設置されました。菌体たんぱく質の質量分析を原理とする新しい微生物の同定検査装置MALDI Biotyper (Bruker) です(写真1)。ヨーロッパではすでに多くの施設で実用化され始めているようですが、本邦で導入している細菌検査室はほとんどなく、全国に先駆けて信大病院の細菌検査室に導入されたこととなります。

さて、そもそも細菌の同定とは？簡単にいってしまえば、「分離された菌株がすでに分類されているどの菌に最も近いかを決定すること」です。現在、細菌検査室でも広く自動同定感受性装置が普及していますが、これらの機器は生物学的性状による同定を基本としています。この生物学的性状が覚えられない！！学生時代を思い出します。

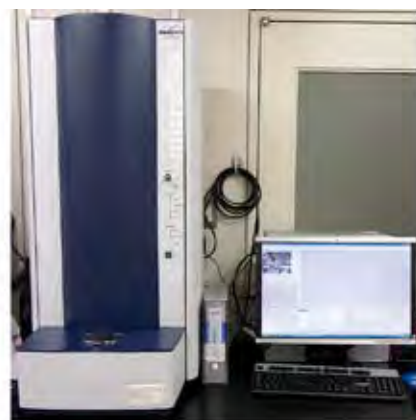
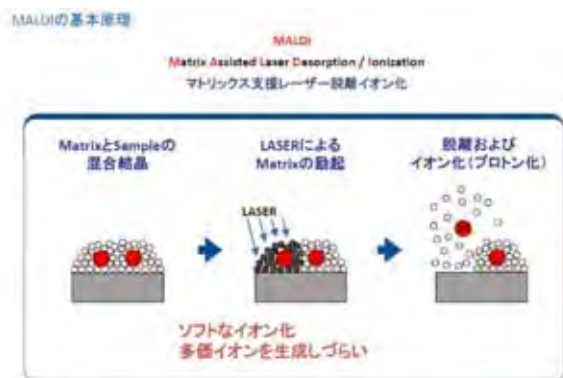


写真1



全ての質量分析計は試料をイオン化するイオン化部とイオンを分離する質量分析部からなる。MALDIはタンパク質のイオン化に適したイオン化法の一つ。

図1

同じ加速度を与えられた(タンパク質)分子は質量の小さいものから早く検出器に到達。その飛行時間を測定し質量に換算して求めるのがTOF(Time Of Flight)型質量分析計。

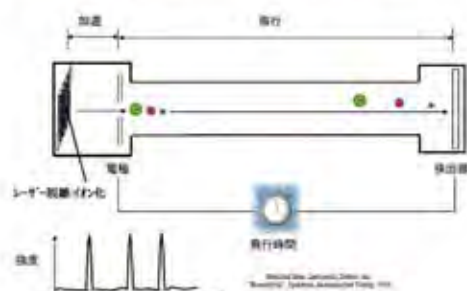


図2

いいことづくめじゃないですか！といいたいところですが、デメリットもちろんあります。真菌や抗酸菌、ムコイド形成の強い菌種などは今のところ同定困難です。また、あくまで同定装置なので、現状では薬剤耐性菌を検出できません。

細菌検査の大きな仕事は“同定検査”と“薬剤感受性検査”です。どちらも欠くことはできません。非常に便利な装置が利用可能になりましたが、装置の同定検査が妥当かどうか判断し、それに基づき薬剤感受性検査を実施するのは、その知識をもった検査技師です。

私たちががんばって獲得してきた知識は無駄にはならなそうです。

(保3 堀内 一樹)

では、MALDI Biotyperはどうか？原理はマトリックス支援レーザー脱離イオン化質量分析法(MALDI-TOF MS)です。非常に難しい名前がついていますが、基本は2002年に田中耕一氏(島津製作所)がノーベル賞を受賞した質量分析法を改良したものです。MALDI Biotyperでは2段階の作業を行っています。①菌体タンパク質の質量分析によるマススペクトルの作製。②マススペクトルのデータベース検索。もう少し詳しく書くと、①菌体のたんぱく質をレーザーでイオン化させて飛ばし(図1)、検出器までの飛行時間を計測します(図2)。もちろん、菌体タンパクは1種類ではないので、この現象を横軸に飛行時間から求めた質量、縦軸に検出強度としてグラフに表すと複数の波形(マススペクトル)が得られます(図3)。②この波形のパターンを同定検査システムの各菌株のマススペクトルデータベースのパターンと比較し、菌種の同定を行います。

簡単に説明しましたが、実際の操作も簡単です。培地から採取した菌をプレートに塗り、マトリックスを添加して乾燥させる。あとは装置にかけるだけ。容易で簡便な上、必要な時間は10分程度と迅速な同定検査が可能です。また、非常に低コストでもあります。

バクテリアのRibosomal Proteinなどのメジャーなタンパク質のスペクトルを用いて同定するため、再現性が高い

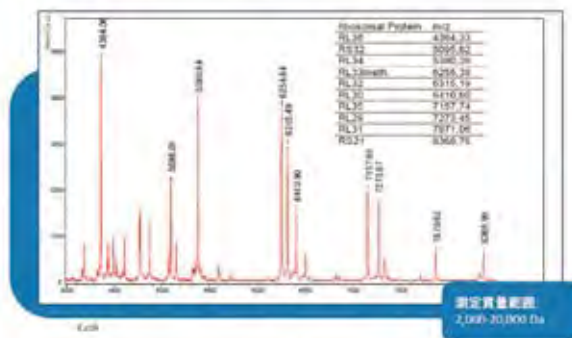


図3

# 松本便り



松本市  
マスコット  
キャラクター



アルプちゃん

松本山雅FC  
オフィシャル  
マスコット



ガンズくん

## あっ！鶴林堂ビルがない

松本市を流れる女鳥羽川の橋【千歳橋】、神道祭りも懐かしい【四柱神社】。  
この2つに隣接していた9階建ての鶴林堂ビルを皆さん、覚えていますか？



「鶴林堂ビル、知ってる？」



「知ってるよ。でも、その場所は今、発掘調査中だよ。」



「えっ！ビルがないんだ。」



「去年の3月から解体工事が始まって、6月には平地になってしまったんだ。その後、松本城大手門枡形跡の発掘調査が始まったんだよ。」



「枡形って、何？」



「お城や砦などの防御施設的一种だよ。城門の前面に、正面からは進入できない形の小規模な広場を設けて、敵軍を足止めして攻撃する仕組みになっているんだ。昔の人の知恵ってすごいなあ。」



大手門枡形



解体前 : 9階建ての鶴林堂ビル最上階にはレストランがありました。



解体準備中 : ノセビルと富士ビルが解体され、いよいよ鶴林堂ビルの解体です。



解体後 : 平地になってしまいました。

ここを掘っているんだよ!!



「枡形跡は、発見されたの？」



「発掘中に枡形の周囲を固めた石垣の下段が現れたんだ。みんな、大喜びだったそうだよ。」



「調査後、この場所はどうなるの？」



「多目的広場の整備を予定しているんだ。」



「これからどう変化していくのか、楽しみね。」



発掘調査中

現在、鶴林堂ビルの跡地は発掘調査も終了し、平地になっています。この場所がどのように変貌していくのか、松本に来られた時にはちょっと立ち寄ってみませんか。

# 卒業生の進路



保健学科7期生 卒業生37名（H25年3月卒業） H25年2月10日現在（ ）内人数  
就職：30名

長野赤十字病院(1)、諏訪中央病院(1)、諏訪マタニティークリニック(1)、飯田市立病院(2)、JA長野厚生連佐久総合病院(2)、長野県立病院機構(1)、安藤病院(1)、信楽園病院(1)、伊勢崎市立病院(1)、名古屋掖済会病院(1)、安城更生病院(1)、愛知県赤十字血液センター(1)、総合上飯田第一病院(1)、しらゆりクリニック(1)、静岡県立病院機構(1)、聖隷福祉事業団(1)、中部衛生検査センター(1)、済生会松坂総合病院(2)、石川県立中央病院(1)、福井赤十字病院(1)、大阪中央病院(1)、神戸市民病院機構(1)、済生会福島総合病院(1)、茨城県厚生農業協同組合連合会(1)、慶應義塾大学病院(1)、榊原記念病院(1)、日立アロカメディカル株式会社(1)

大学院進学：6名

信州大学大学院医学系研究科保健学専攻(博士前期課程)(6)

大学院医学系研究科前期課程保健学専攻5期生 修了生7名（内社会人1名）

就職：5名

信州大学医学部附属病院(1)、東京大学医学部附属病院(1)、浜松医科大学医学部附属病院(1)、伊那中央病院(1)、富山大学附属病院(1)

進学：1名

東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科（博士後期課程）(1)

## 事務局からのお知らせ

### カミングホームデー

第15回臨嶺会総会（平成24年3月24日開催）にて、従来の卒後20年・40年に加えて10年と30年についても同級会開催の際に補助をすることが認められました。

平成25年の該当は、卒後10年が短大28回生（平成16年3月卒）、20年が短大18回生（平成6年3月卒）、30年が短大8回生（昭和59年3月卒）です。40年の該当学年はありません。臨嶺会として補助、協力（例えば構内見学など）をいたしますので、同級会を開催し旧交を温めてください。

すでにカミングホームデーの該当年を迎えられ、これから同級会を開催する学年につきましても補助をしますのご連絡ください。

### 事務局への連絡方法

改姓・住所・勤務先等の変更が生じた場合は、必ず事務局へご連絡くださいますようお願いいたします。方法はメール、ハガキ、封書いずれでも結構です。

### 会費未納の方へ

臨嶺会は皆様の会費により運営されております。平成25年1月現在で会費未納の方には未納金額のお知らせを同封してあります。会費納入にご協力をお願いします。振込用紙の通信欄に衛・臨・短何回生、会員番号を必ず記載してください。

振込先 ゆうちょ銀行

口座番号「00520-0-20187」

加入者名「臨嶺会」

なお、保健学科卒業生は保健学科同窓会にご納入ください。

### 卒業後の証明書申し込み方法

卒業証明書、成績証明書等の申込みは、郵送および窓口のみの受付となります。詳細は「信州大学医学部」ホームページの「卒業生の方へ」の「卒業証明書発行について」をご覧ください。

<http://www.shinshu-u.ac.jp>

[/faculty/medicine/alumni/certificate.html](http://faculty/medicine/alumni/certificate.html)

会報は臨嶺会ホームページではフルカラーにてご覧いただけます！

編集委員会では、元の原稿はすべてカラーバージョンで作成しています。臨嶺会ホームページには、フルカラーの会報を掲載していますので、是非、ホームページでもご覧ください。URLは下記の通りです。

臨嶺会ホームページ：<http://www.mhoken.jp/rinreikai/>

# 2012年のできごと

2月14日(火) 接遇対策セミナー（3年生対象、臨嶺会として支援）

3月21日(水) 信大松本地区卒業式・学位記授与式

3月24日(土) 第15回臨嶺会総会

総会：経過報告・事業報告、会計報告・会計監査

事業計画案・予算案、役員改選・会則改正、その他

講演会：高宮 脩 先生

詳細は同封の別紙をご覧ください。

4月 4日(水) 信大入学式

11月21日(水) 就職・進学支援セミナー（2・3年生対象、臨嶺会として支援）

講師：関崎 恵さん（株式会社エスアールエル、短8回生）

三澤 健さん（伊那中央病院、保1期生）

石毛崇之さん（千葉大学医学部附属病院、保3期生）

藤井義也さん（神應透析クリニック、保4期生）

林 正明さん（長野赤十字病院）



第15回臨嶺会総会



## 編集後記

「スローライフ」という考え方が注目されています。人それぞれいろんな考え方がありますが、居住地（田舎への移住）、交通手段（自転車や徒歩の奨励）、教育（環境や食育の重視）、街づくり（郊外開発ではなく中心街の活性化）など生活を取り巻く環境全般を見直すこと、結果だけでなく過程を楽しむこと、感性を磨き、みずみずしい人間関係を取り戻すこと、利益・効率重視から暮らしや生きがいを尊重すること、こうした価値観の変化、マイペースな人生がこれからの人生をより豊かにしてくれると思います。

近況報告も、写真掲載がだいぶ増え、回数を重ねる毎に盛り上がりを見せています。自分の同級生はもちろん、先輩そして後輩がたとえ知らない方であっても、「へえ～」と思える記事に巡り合える時、何故か幸せを感じられるのは僕だけでしょうか？今後ともご協力の程、よろしく申し上げます。

最後に私事です。昨年（H24）1月22日に上演されました第3回まつもと市民オペラ、モーツァルト作曲「魔笛」（演出白井 晃）が佐川良男音楽賞を受賞（<http://www.mpac.jp/info/2012/10/12/post.html>）しました。お越しいただいた同窓生に厚く御礼申し上げます。次回上演は本年（H25）12月23日、ビゼー作曲「カルメン」です。乞うご期待（〇）。

編集委員会では、常時、特集記事を募っています。何か興味深いことがありましたら、是非ご一報下さい。お待ちしております。

（2013.1.31 石川伸介）

## 臨嶺会会報 第34号

|       |          |
|-------|----------|
| 臨嶺会会長 | 奥 村 伸 生  |
| 事務局   | 寺 澤 文 子  |
|       | 小 穴 こず枝子 |
|       | 亀 子 文 子  |
| 編集委員会 | 石 川 伸 介  |
|       | 川 崎 健 治子 |
|       | 久保田 聖 子  |
|       | 沖 村 幸 枝子 |
| 編集協力  | 赤 羽 昌 介  |
|       | 小 嶋 俊 介  |

印刷 株式会社ブラルト

## 臨嶺会事務局

〒390-8621 松本市旭3-1-1

信州大学医学部保健学科検査技術科学専攻

Tel. 0263-37-2387 (ダイヤルイン)

Fax. 0263-37-2370 (保健学科事務部)

e-mail kensa@shinshu-u.ac.jp

臨嶺会ホームページ

<http://www.mhoken.jp/rinreikai/>